

設立50周年を迎えて

経済団体健康保険組合
理事長 岡野 貞彦



経済団体健康保険組合は、令和4年11月1日をもって、設立50周年を迎えることができました。これもひとえに事業主ならびに加入者の皆様のご理解、ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。また、これまで組合運営にご尽力された歴代の理事長はじめ組合役職員各位に対して深く敬意を表する次第です。

当健康保険組合は、経済団体で働く者の健康増進、福利厚生の実現を図ることを目的に、当時の経済団体連合会、日本商工会議所、東京商工会議所、経済同友会、日本経営者団体連盟が中心となり、東京都に所在するその加盟団体ならびに密接な関連をもつ非営利団体が参加して、わが国初の経済団体職員の総合組合として昭和47年（1972年）に設立されました。以来、加入団体および組合員の負託に応えるべく、組合財政の健全化・安定化に努めるとともに、時代に応じて保険者機能の強化・拡充に取り組んでまいりました。現在では62の団体が加入し、被扶養者も含め組合員数は約7千5百名に至っております。

この50年を振り返りますと、わが国は、経済成長を背景に国民皆保険制度を通じて世界最高レベルの平均寿命と保健医療水準を実現いたしました。一方、バブル崩壊以降、長期にわたり経済が低迷するなか、急速な少子高齢化の進展や医療の高度化により医療費は増加の一途を辿っており、医療保険財政は年々厳しさを増しております。

昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大は、我々の社会生活、経済活動に大きな影響を及ぼすとともに、日々健康で過ごすことの大切さや、必要な時にはいつでも適切な医療が受けられる体制の重要性を、あらためて実感させることとなりました。ついては、これを支える健康保険制度の役割は、厳しい状況下にあっても、従来に増して大きなものになっているといえます。

当健康保険組合は、今後とも「組合員とその家族の健康を守り支える」という役割・使命を果たすべく、健全で信頼される組合運営と効率的・効果的な事業推進に一層尽力してまいります。

結びになりますが、当組合に対する変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、各団体のますますのご発展と組合員の皆様のご多幸・ご健勝を心から祈念いたしまして、設立50周年のご挨拶とさせていただきます。